



はるか

2022. 春号 No.141

- 障害者支援施設 大洲ホーム
- 大洲・内子・八幡浜市障害者相談支援事業
- デイサービスセンター 春賀
- 在宅介護支援センター 春賀
- 居宅介護支援事業
- 訪問ケアステーション 春賀
- グループホームはるか
- 介護タクシー 春賀
- グループホーム春の風
- 特別養護老人ホームぎおん



三善小の訪問活動

12月
23日



三善小の訪問活動

事務員 伊藤 知栄美

2学期もいよいよ終わろうとしている中、三善小学校の5・6年生と先生が訪ねて下さいました。コロナ禍^か、利用者との交流が直接出来ない事を思い、プレゼントを持って皆で来て下さいました。心のこもった色鮮やかな千羽鶴、寄せ書きには利用者へのはげましの言葉などがあり心があたたかくなりました。

また、年間を通しての学校行事の様子をアルバムにして頂き、普段見る事の出来ない生徒の楽しそうな表情を見る事が出来ました。

このような状況でも、自分達に出来る事を考えて来て頂いたことに利用者・職員一同感謝しております。

障害者支援施設 大洲ホーム便り

ホームページ <http://www.ecomnet.or.jp/~ohzuhome/>
メールアドレス ohzuhome@ecomnet.or.jp

リモート初詣

サービス管理責任者 城本直也

今年の初詣は、オミクロン感染予防でリモートで行いました。

新年や利用者有志の初詣

しめなわ かざ
ベ縄で飾った大鳥居の風景や

いづしま
厳島神社の参道を駆け登って行く

介護員の様子、利用者から預かったお賽銭を奉納する様子をテレビ鑑賞中の利用者さんへ放送しました。

ました。



初詣の実況放送に見入る利用者さん

また、今年はデイサービスセンター春賀など各事業所からもリモートで新年の挨拶をしました。

成人を迎えて

生活支援員 山口 柊

成人を迎えて私は、大人としての自覚、責任をしつかりと持ちたいと思います。私生活だけでなく仕事に関しても、職場の方や利用者の方に迷惑をかけないようにこれから働いていきたいと思っています。



生活支援員 久保真衣

成人を迎え、これから大人になれるように一つ一つの行動に責任を持ち成長できるよう頑張っています。

利用者作品集

大洲ホーム文芸

俳句教室は、大洲ホーム開設以来30年に渡り継続して開催され、多くの秀作を発表して参りました。今回は、冬から陽春にかけての作品を紹介させて頂きました。



清水先生の俳句教室

カレンダー風にカタカタ鳴る師走 平高浩二

介護士が布団をかける冬の夜 高田栄作

街角にベルが聞こえるクリスマス 島崎公代

わかみず ぞうに
若水で雑煮を作る男たち 高田栄作

正月に故郷帰れぬオミクロン 徳山 聡

朝早く顔を合わせてお雑煮を 島崎公代

帰り際そっと差し出す手袋を 島崎公代

春光や心のハープかき鳴らす 徳山 聡

高校時代の思い出、ハープ（立琴）の音色は、ある方に出合った時の気持ちが心の中で鳴っているような気持ちを表現しました。

北国の大雪便りニュースにて 片山純二

餅つき

生活支援員 柳 尚也

大洲ホーム中庭で餅つきが行われました。

三善会、全事業所のお飾り用鏡餅と大洲ホーム利用者の分で5臼つきました。



利用者有志の方は、寒い中でも職員と一緒に声を合わせてつかけました。

餅つきの経験わかる

きねの音

利用者 平高浩二

私が、最後に餅つきをしたのが幼稚園生の時なので14年ぶりの餅つきでした。

コロナ禍に思う (パートII)

顧問 渦尻眞二郎



今から百年前にスペイン風が大流行し、世界で何千万人の人が亡くなり我が国でも40万人が亡くなりました。けれども、この大流行も2年余りで収束しました。何事につけ終わりの無いものはありませんが、コロナは感染ルート^{はあく}の把握がむづかしい

事と、スピードの速さで発生防止と絶滅^{ぜつめつ}対策は極^{きまわ}めて困難です。今やコロナ禍^かの生活は、マスクに隠^{かく}れて距離感のある関係を加速させています。

また、企業文化の「出張」は「ウェブ会議」に置き換えられ、仕事の打ち合わせもオンラインで簡単に済ませることに気が付きました。

コミュニケーションもスマホによる「生身^{なまみ}」のコミュニケーションとなつて、新しい文化を作りだそうとしています。

ゆず酢^す作り

今年は柚子^{ゆず}が豊作で職員有志が収穫しました。収穫した柚子は、きれいに水洗いしてから搾^{しぼ}り機にかけて、ゆず酢を作りました。



ゆず^{しぼ}搾^り

ゆず酢^{あじうず}は厨房で冷凍保存して年中使います。天然のゆず酢を使った大洲ホームのばら^{はら}寿^{しう}しは天下一品です。



メリークリスマス

自治会ひじかわ
会長 大澤 亮

コロナ禍のため今年も利用者と職員だけのクリスマス会をしました。

マスクより出たるサンタの髭^{ひげ}白し 平高浩二

オープニングは、利用者5名がミュージックテーブルでジングルベルの演奏^{ひょうそう}を披露しました。



ミュージックテーブル伴奏でのクリスマスソング

グループ対抗では、ビンゴゲームやお楽しみ抽選会も行い盛り上がりしました。屋食会^{ごうか}は豪華なクリスマスメニューとクリスマスケーキを頂きました。



30年史 読み聞かせ会

三善会30年史の発刊に伴い読み聞かせ会を6回に分けて行いました。

1～2回は、開設前後の逸話を創業者と荒木が行い、コンサートなどのイベントは大西、上満が紹介しました。

「介護マニュアル」の作成などの苦労話

は川本、宗金、樋口が紹介しました。

20周年前後の有り様は、理事長と事務長が紹介し、時代と共に変化してきた処遇改善策は樋口、清水、城本が行いました。

利用者からは「いろいろなご苦労があったんですネ」と嬉しいコメントがありました。



中岡さんのお別れ会

12月23日

お別れ会
チーフリーダー 清水博美
7年9ヶ月大洲ホーム生活支援員として勤務されていた中岡さんが、退職する事になりお別れ会が開かれました。
8年余りの想い出話に胸詰る場面もありました。これからも素敵な笑顔で頑張って頂きたいと思います。
マスクする見慣れた姿もう見れず
高田栄作

節分祭

利用者 坂口 雄二

コロナ禍で行われた節分祭。例年とは違い、グループ別で行いました。

豆の代わりにボールやお手玉を鬼の的にあて、鬼を倒しました。



豆の代わりにボールを鬼の的に投げつけました

皆、小さな声で、「鬼は外。福は内」とつぶやきながら祈りをこめて、鬼の的に投げつけました。

私は5回目の年男で還暦を迎えます。これで邪気や厄をおとして、元気に過ごして参ります。

立春の朝目を覚ます雪が舞う

坂口雄二



人権週間企業訪問

サービス管理責任者 城本直也

法務省及び全国人権擁護委員会連合では、世界人権宣言が採択された12月10日を最終日とする1週間を人権週間と定めて、人権尊重思想の普及高揚に努めています。

大洲市では、令和3年の12月4日から12月10日の期間に市内の企業や、街頭で人権尊重の啓発活動をされました。

今回、市より大洲ホームでの人権にかかわる取り組みについての意見交換をして頂き、人権啓発グッズなどの寄贈を頂きました。



人権啓発グッズの寄贈

私共は、人権と密接に関わるサービスを提供する企業として今後も人権尊重に努めていきます。

西山先生の 引退に寄せて

生活支援員 鎌田 梨江

四半世紀に渡りご指導下さったストーンアート教室の西山先生（伊予郡砥部町）が引退されました。

西山先生ご指導のストーンアート作品



利用者有志が感謝の気持ちを込めて、思い出のアルバム帳を作り贈りました。

西山先生からも御礼のお手紙を頂きました。西山先生ありがとうございました。



2月16
~19日

災害時の派遣要請

作業療法士 窪 祐樹



大洲市内の福祉施設でクラスターが発生し、多くの罹患者が出ました。これを受けて、大洲市は災害時応援協定に基づき該当施設への派遣を決め、当施設から私が派遣されました。

2年前に発生したコロナは未曾有の厄災に戸惑いながら、なお途上にありますが目に見えない厄災に戸惑い十分な成果は挙げられませんでした。このたびの体験を機に今後の仕事に生かしたいと思っています。

門松作り

サービス管理責任者 城本 直也

大洲ホーム恒例の門松作りを行いました。

今年は新人職員も加わり、ベテランの上野職員の指導で竹を切り、松や杉の葉、南天、葉牡丹を添えて立派な門松ができました。



大洲ホームの門松

訪れたご家族やお客様から「立派ですね！」と誉めて頂きました。

一年の早さしみじみもう師走

東一郎様を 偲んで

東一郎様は、平成3年の大洲ホーム開設と同時に入居されました。秋晴れや第1番の入所者に

東一郎様は、平成3年の大洲ホーム開設と同時に入居されました。秋晴れや第1番の入所者に

東一郎

将棋がお上手な方で将棋クラブに自主参加され、俳句やワープロにも取り組まれました。

頭部保護帽のヘルメットとジーンズがトレードマークで、チヨコレートが大好きな方でした。ご冥福をお祈り申し上げます。



特別養護老人ホーム ぎおん便り

門松作りボランティア

ぎおんの玄関にりっぱな門松ができました。ご近所の津田様と東谷様がハサミなどを持ち寄って、門松を作って頂きました。

今年は、ぎおんの初めてのお正月。玄関に門松をたてて新春を祝いました。



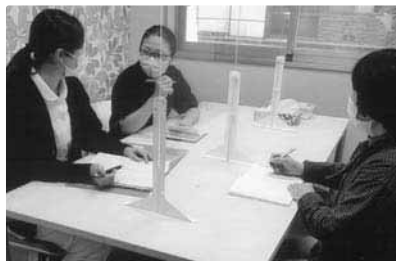
給食委員会の立ち上げ

管理栄養士 和田 佳 歩

ぎおんで第1回目の給食委員会が開催されました。

食事は、四国ローカルフードサービス株式会社様が施設内で作り提供しています。会議では、介護部とご利用者一人一人について自助具の検討、嗜好や疾患についての話し合いを行いご利用者様に合った美味しい食事が提供できるようにという目的で行いました。

内容は、栄養士と委託業者様とで再度話し合い、ぎおんらしい給食を目指しています。



給食委員会

ぎおん

ショートステイが始まりました。

相談員 中岡 越子

特老ホームぎおんのショートステイ(定員9名)がこのほどオープンしました。ショートステイとは、高齢者が介護保険を利用して受けられるお泊りサービスです。



利用者の団らんのひととき…

自宅で介護を継続することは、徒労感に襲われることもあります。



軽い体操

ショートステイでは、自宅での介護と同じような環境で過ごして頂けるようにスタッフ一丸となって対応させていただきます。日中は、ゲームや体操などを行い楽しみを含めた生活スタイルを提供させていただきます。

おひな様の寄贈

おひな様をぎおんで飾って下さい。と仲田美穂様(内子町)よりひな人形を寄贈して頂きました。このお人形は、美穂様の成長と共にご家族が大事にされてきたものと聞いております。今年の節句にはぎおんでご利用者にお披露目をして、大切に使用させていただきます。有難うございました。



ぎおんホールに飾られたひな人形

創作活動

ビッグカレンダー作り

作業療法士 永 沼 綾

利用者がレクリエーションでビッグカレンダー作りに挑戦さ



ビッグカレンダーを
共同製作しています

れています。色紙を千
ぎ切る人、貼^はりつける人…
それぞれが残存機能を
生かして、一つの作品
を作りあげていきます。

カレンダーは誰もが
情報を共有できるビッ
グなものを作って、リ
ビングに掲示します。

3月
10日

ぎおんの行事食

「ひなまつり」

管理栄養士 和 田 佳 歩

3月3日は^{ひなまつ}雛祭り… ぎおんホールの
一角にお雛様が飾られ、行事食「ひな
まつり」でお祝いしました。



手^て毬^{まり}寿し

利用者さんは「子供の頃を思い出し
た!」「おいしかった!」とても喜んで
頂きました。

よろしく
お願いし
ます!



谷本千寿子



大石ひとみ



土井健司



津田豊一

ぎおんは、シニア活動推薦宣言を
行い、ぎおんに人が集^{つど}い賑わう場とし
て貢献したいと思っています。

ぎおん・パートタイマー紹介



松下優子



浦上ゆかり



藤本真紀

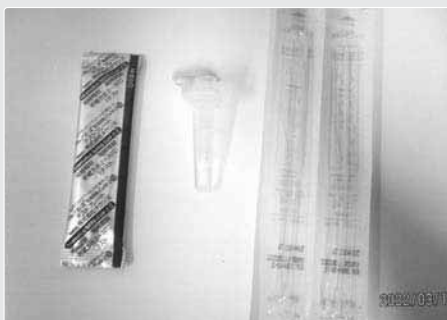


三好紀子

「コロナウイルス 抗原検査」

看護師 須内由美子

愛媛県内においてコロナウイ
ルスの蔓延^{まんえん}が留^{とど}まる事もなく人々
の命を脅^{おそ}かしています。特に持
病を持っていたり抵抗力の下^さがつ
ている高齢者は気をつけなけれ
ばいけません。今回、県から無
料で抗原検査キットが配布され
たので、常に高齢者に接してい
る私達職員も一斉に検査を行



抗原検査キットの配布で一斉検査

ました。計48名の職員がしまし
たが全員陰性でした。これで一
安心ではなく、高齢者の命を預
かっている事を忘れず感染対策
をしっかり行っています。

デイサービスセンター 春賀便り

クリスマス会

介護員 荒木 文子

今年のクリスマス会では、全員マスク着用で行いました。

クリスマスプレゼントも「マスクケース」を贈り喜ばれました。



「マスクケース」のプレゼント

クリスマスファイナーレは職員全員がサンタ姿で♪ジングルベル ジングルベル♪曲に合わせたダンスを披露して盛り上がりました。

笑う門には福来たる

サブリーダー 石山 愛

デイ春賀では職員がアイデアを出し手作りした正月遊びを行いました。「すごろく」「おみくじ」「福笑い」など種類も沢山。目隠しをしてお多福・ひよっとこの顔を作るのは中々

節分行事

介護員 山本 太紀

2月3日は立春の前日に当り、節分行事を行いました。今年は職員が赤鬼・青鬼に扮装して、鬼ダンスを披露したり、お手玉で「コロナ外！福は内！」厄払いをしました。



職員が鬼ダンスを披露

コロナは、次々と変異して大洲でもクラスターが発生してまだ途上にあります。一日も早い終息（しゅうそく）を願っています。

春賀茶屋で甘酒

介護員 長井 二三

コロナ感染予防の為、初詣に行く事が出来ず、かわりに春賀茶屋を開催しました。

手作りの甘酒を利用者の皆さんに振る舞いました。寒い時期にショウガの効いた甘酒を、おいしいと喜ばれ、おかわりをされる利用者さんも何人もいらっしゃいました。



手作り甘酒の春賀茶屋



目隠しをしてお多福・ひよつこの顔を作るのは難しい！

難しい！「もっと右右」「行き過ぎ左！」と指示を出す人も一生懸命！手作りのおみくじも本物そっくりの出来栄え！「大吉！今年も笑い声響く良い1年になりますように！」

これからも皆さんの笑顔の為に季節に合わせたレクリエーションを行っていきます！

グループホーム 春の風便り

初詣

介護員 高月 功輔

氏神様の八幡神社へ初詣に出掛けました。

初日の出仰ぎて向う

宮参り

今年の干支は十二支の第

3「寅」。



八幡神社へ初詣

正面には新しく奉納された「寅」の絵馬が飾られていました。

春の風の立入調査

所長 徳 森 利 弘

大洲市の実施調査がグループホーム春の風で行われました。



大洲市の実施調査

実施調査による改善事項はありませんでしたが、ご利用者の生活の質の向上について気付きのご助言を頂きました。

長浜高校生のプレゼント

12月20日

介護員 石 山 友 美

長浜高校家庭クラブ4名の生徒さんが、スノードームとクリスマスカードを持って慰問されました。



長浜高校生の慰問

手作りプレゼントに利用者さんは大変喜ばれ「やさしいのおー」と感謝しておられました。

「なかよしの花」プレゼント

介護員 石 山 友 美

長浜小学校より「なかよしの花」の贈呈があり、春の風の玄関にパンジーのフラワerpottが飾られ、春一番の彩りを添えました。



長浜小学校より「なかよしの花」贈呈

利用者さんはおよろこびで、水やりも進んでやって頂くことになりました。

グループホームはるか便り

利用者さんも待ち切れない様子でお料理を楽しみました。



グループホームの御節料理
介護支援専門員 曾根路子
元旦のお昼は職員手作りの御節料理でした。盛り付けは、職員が腕に縫いをかけて見た目も豪華にできあがりました。

書き初め

介護員 平岡喜代美

正月2日は書き初めをしました。

皆さんに声掛けをしたら「昔は書いたがの～」

書き初めの心をこめて一字書く

岩下菊枝

筆を持たれると、昔とった杵柄で一気に書きあげられました。

今年の干支は「寅」良い一年になりますように願いを込めました。



書き初め

創作活動

介護員 好崎貴秀

節分の日を前に、大橋武清様が何ともかわいいうる鬼少年の絵を披露されました。



大橋様の鬼少年

大橋さんは、温厚なお人柄で切り絵を嗜まれますが、鬼少年は素朴で温もりのある手法で「福は内！鬼少年も内！」そんなイメージで、内に秘めた優しさを表現されています。

創作活動の傑作になりました。

大洲市の実施指導

所長 上満佐智子

大洲市の実施調査がグループホームはるかでありました。

実施指導監

査による改善

を要する事項

はありません

でした。

こまかな気

付きのご助言

は即対応させ

て頂きました。



大洲市の立入指導

大洲ホームショートステイ便り

ご利用者紹介

生活支援リーダー 清水 博 美

上岡さんは普段、ご自宅でご両親と3人暮らしをされています。ご自宅は“日本棚田百選”にも選ばれた“泉谷棚田”でお父さんは、あの有名な“棚田のおじいちゃん”です！

上岡さんの家は、農繁期になると田植えの準備が慌ただしくなります。そんな時、上岡さんは月に10日ほど大洲ホームの“短期入所”をご利用されます。上岡さんが大洲ホームを利用している間に、ご両親は田植えの準備に取り掛かっているそうです。

大洲ホームの短期入所というサービスが在宅障害者の生活、及びご家族の生活を支えられる重要なサービスだと感じています。



ご両親の愛を一身に受けて

● 居宅介護支援事業便り ●

前野さんのお別れ会

サブリーダー 沖井 裕子

前野美香さんが2月末をもって定年退職されました。

前野さんは、居宅介護支援事業のケアマネジャーとして平成24年から勤務されました。



前野さんのお別れ会

いつも利用者さんの事を一番に考えられる心優しいケアマネジャーでした。

お疲れ様でした。

新職員紹介



ケアマネジャー

宮内 潤 じゅん

4月1日より赴任しました。よろしく願い致します。

介護タクシー春賀便り

介護タクシー

運転手紹介



渡壁 信二郎

井戸 清隆 (敬称略)

後藤 正一

山下 浩子

■ 3月から渡壁さんが加わりました。

リレー随想

「登り坂 下り坂 まさか」

グループホーム春の風

長壁 朱里



私は人生には3つの坂がある、と思っています。

「登り坂、下り坂、まさか」私が介護の仕事にいたのは、「まさか」の出来事でした。無理をしてまで続ける必要はない、と思つて初めてから丸8年が経とうとしています。全くの素人の私が、何で辞めずに続けてこられたのか考えてみました。初心者という事を強みに、恥ずかし気もなく何でも聞きました。周りの人に存分に助けてもらいました。助けてもらった分、働きやすい心地良い環境を作りたい、と考える様になりました。私は「人」が好きなんだと思います。人と関わる事で生きがいを感じられるからです。何があっても、こんな気持ちを忘れてはいけないなと思う今日この頃です。

ぎおんの自慢料理

鮭の味噌マヨオーブン焼き



(材料：1人分)

- | | | |
|-----|-------|------|
| { | 鮭 | 60 g |
| | 食塩 | 少々 |
| | こしょう | 少々 |
| A { | 玉ねぎ | 20 g |
| | ピーマン | 8 g |
| | 人参 | 10 g |
| | しめじ | 15 g |
| B { | マヨネーズ | 7 g |
| | 白みそ | 3 g |



(作り方)

- ① Bを合わせて味噌ダレを作る。
- ② 鮭はキッチンペーパーで水気を拭き取り塩、こしょうをふる。
- ③ Aを好みの大きさに切る。
- ④ オーブンの角皿にクッキングシートを敷き、Bをのせる。
- ⑤ 鮭をのせ、味噌ダレをかける。
- ⑥ アルミホイルを被せ、オーブンで 250℃ 15分程度焼いて完成。



御厚意に感謝します

【12月〜3月】

- 坂田 安香様 (八幡浜市)
- 角石 高春様 (八幡浜市)
- 藤田 常博様 (大洲市)
- 山田 剛様 (内子町)
- 中村 久次様 (長浜町)

- 佐野 満寛様 (八多喜町)
- 池田 加志子様 (春賀)
- 宮西 輝光様 (八幡浜市)

【順不同】



ひと言…

編集後記

ソメイヨシノが日本列島を駆け抜けて、心華やぐ美しい季節になりました。

梅が散り桜の季節 春盛り

本号は冬から陽春にかけての、三善会の暮らしの一端を切り取って編集しました。今回も多くの方々に投稿頂いて発刊することができました。ご協力に感謝します。